

動物園飼育日記

214

亀井一成

（王子動物園学芸員
写真も）

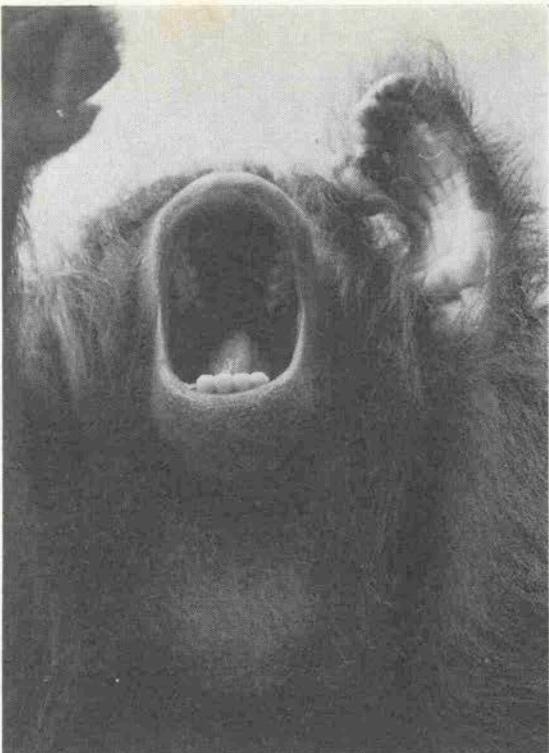
音を作るオランとチンパン



あの赤錆びたブランコのきしむ音が嫌いな私は、オランダー・ウータンや、チンパンジーのタイヤブランコにたつぶされただけビューンと大振りしていたウータンもチンパンもが、2~3回の振りで、ひよいと着地、遊びが続かないのだ。何故だろう。スムーズに動くことで振子遊びが激しくなるのではなく、すぐやめてしまい次の遊びに移ってしまうのである。

「あれ？ あのきしむ音が消えたら遊びが変わってしまうた！」

どの動物達も限られたオリの中ではいつしか生活のパターンが決まっている。しかもそのひとつひとつにすばらしい音の生活をのぞかせているのである。オランダー・オラン君の場合は、運動場への吊戸を開けてもさっと出ない。吊上げられた鉄戸を見上げ、ごつい指で何度もガターン、ガターン、落ちてこないやろなあ、ゆすってからくぐり出た！と思つていたら、また戻ってきて、何やら格子をゆすってガタガタガタ。隣りの



“水をください／アーン”とネネ

ウンコ掃除をしている私をさかんに呼びつける風だ。ちよつとゴミを捨てて前に前を横切らうとしたら、今度はチュッ！ つい油断していたら、首筋に何やらピチャッと冷たいものが飛び見事に命中した。

素通りする私を呼びとめるため、ジュン君得意のツバキ鉄砲がとんできたのである。なおもジーと座りこんだまま、いつまでも視線を向け、またまたチュッチュッ！ と口先で音の催促。“無視” ようせん父ちゃんの心の内を見抜いてるジュンが心憎い…。

「さあ、バナナか！」と入れてやつてもポイと突き返し

てくる。「ちがう」というのだ。喉の奥の方で、キュウ

キュウ小声を出している。水洗いしようとホースをもつ

た途端、ガタガタガタ、チュッチュッ！

「そうか、水やつたんか！」

アーン。大きな口を開け、やつとのこと“水を飲ませろ”という、やりとりが出きたら、「ウーン、ウーン。キュー」と小声が返ってきた。「わかった、わかった」

たつたひと口の水をふくんだジュン。やつとのことこ

の父ちゃんと対話できた満足感い

つぱいで、そのあこころげるよう

に扉をくぐつて外に出ていった。

四つ足でくぐり出たジュンは二

〇〇キロに近い巨体を二足で嬉し

そうに歩きボーンとタイヤブラン

コを突きとばした。キーン、キ

ーン、キーン、キーン。錆びたタイ

ヤブランコの音が消えそろにな

ると、またボイーン突きとばして

いる。そんな遊びをやつている横

で、コツン、コツン、コツン、コ

ツン何やら叩たく音がする。

あつ！ またやつとる。メスの“ネネ”ちゃん、コンクリートの床が一部ひび割れして、僅かに浮

いてきている。そこを手ではなくて、足のかかとで、コ

ツン、コツン踏みつけ、さかんに音をたてているのだ。

雨あがりの日、その踏みつけ遊びがまた大傑作。ピチ

ヤン、ピチヤン、コツーン、コツーンが水入りでピチヤン、ピチヤン。しぶきが四散するのがまた面白くそれこそ何百回とやめることを知らない程続ける根気。その

“ネネ”の眼射しは、じーとヒビ割れから飛び水しぶきと音の謎に見入っている。そこへ、走りでたジンがタ

イヤを突きとばした勢いでボーン。しゃがみこんでいたネネに体当り。途端にジュンとネネの相撲が始まつた。

「ガン、キン、コン、ボールから空缶へ」
一方、チンパンジー一族も負けてはいませんぞ！ ド

ドーン、ドドーン、ドドーン。こちらは大太鼓。出入口



ベンチ片手にクサリをカン、カン、カン

の鉄戸を走ってきてはえい！あのとび蹴りだ。

これをやりだすのはオスのジョニーと金と神ちゃんもだ。木や石を手に投げつける戦闘をやることはよく知られたこと。だが、もしそうした武具がないとなれば、全速で走り、その勢いで、バーンと飛び蹴りをやる。つまり、何んだ！ やるなんか！ という脅し行動だ。

それがまた、蹴とばした直後の彼等のいかり肩が、勇ましい。毛を逆立てひときわ腕力の強い所を見せる。つまりえ格好をしている。ブランコ好きはオラン以上。ゆらり、ゆらり振子に乗って、反動をつけ、えい！ その勢いで、ひよいと格子にとびつく。地上に、そして檻

の最上段へよじ登るさなか、カタカタカタカタ愉快な音をさせて。何だと思ったら、ジユースの空缶片手に鉄格子に当て、カタカタカタ、走り回っているではないか。今度はコンクリートの床に叩きつけ、激しい音の遊びを始めた。その音に誘われる他のチンパン達。それは音作りの伝達行動の始まりだ。チエリーの空缶遊びに金

も秋も神ちゃんもが息を殺して見入っている。この父ちゃんもいささか興奮気味。あつ！ チエリーが手離したその空缶を次は金ちゃんが、床を打たたき、格子に打ちつけ空缶演奏を真似したではないか。

いやそれどころか、隣りの神と秋までが、カン、カン、カラン、カラーン、カラン、カン。あれだけボールが好きだった彼等は同じころんでも音のする空缶に明らかに遊びが移った。ギーイ、ギーイ、ギーイ。チンパンのロープブランコにも油を差したら、やつぱりきしむ音が消えたことに不思議な顔をして止金をのぞきこむ神と秋ちゃん。『何で音がせえへんのや』おでんばの秋ちゃんは足も手も使ってガチャ、ガチャ！ ゆする音はしてもあのブランコのきしみ音がしない。諦めたと見え、今度はロープをたくり上げだした。片手に持ったそのロープを隣りの檻に、差し入れ何だかゆすっている。「オーイ引っぱれ！」チエリーと金が東から、神と秋が西から、格子をはさんで正に縄引きを始めたには参りました。

★神戸の集いから

★河口龍夫さん筑波大学へ
ユニークなアーチストの
河口龍夫さんが、筑波大学
の芸術学系総合造形の助教
授として迎えられ、家族共
々の大移動。

筑波大学では、学生達が

大歓迎



河口龍夫さんを囲んで
迎バ一
戸でも
開かれ
ている
が、神
戸でも
トア・ロード画廊で、七月
十九日より三十日まで個展
を開き、初日にパーティーと
送別会が開かれた。

元永定正、斎藤智さんら
の作家をはじめ、伊藤誠、
菅原亮さんらに、京阪神間
の現代美術画廊のオーナー
達約五〇人が相集まつた。
★田中徳喜作品展オープニ
ングパーティーに集う



池上忠治さん親子を囲んで

新しい具
象絵画に
挑戦しつ
づける
現洋会
(現代洋
画研究会
賞式並び
にパーティーを、7月20日
県民会館において開催し

PLAyというタイトル

員、田中徳喜先生の作品展

が北野坂のギャラリー神戸
時代で7月1日より30日まで
開かれた。初日に催された

開かれた。初日に催された
みんなからの応援が新し



田中徳喜先生のPLAYの世界
に乾杯
和生先
生、行
動美術の中右瑛先生をはじ
め、文化振興財団の本多啓
二さん、市役所市民局の室
谷卓也さん、消防局の機関
誌『雪』の編集長、窪田哲
夫さんなど、たくさんの人
々が集まり、田中先生を囲
んでの歓談が閉会時間いっ
ぱいまで続けられた。

★新鮮で、骨太い絵を描き
つづける現洋会
ロマンの展開を目指し、
新しい具
象絵画に
挑戦しつ
づける
現洋会
(現代洋
画研究会
賞式並び
にパーティーを、7月20日
県民会館において開催し
た。現洋会顧問である角卓
さんは、「10年目を迎え、
みなさんからの応援が新し

いエネルギーとなれば」と
語っていた。会場には、今
回初めて審査員となつた神
戸大学教授池上忠治さんを
はじめ、半どんの会の小林
武雄さん、読売新聞黒川局
長、同本部沢井次長、同美
術担当の安黒正流などがお
祝いにかけつけた。

★「まぼろし紀行」出版バ
ーティ納涼船上に和やか
に開かれる
稻荷山鉄剣に刻みこまれ
た名を手がかりに、『時間旅
行』。学者を訪ね、古墳に
併み、推理の糸をたぐって
ヲワケノオミの正体と500年
代の日本を探るユニークな
ノンフィクション『まぼろ
し紀行』の出版記念会が7
月24日夕刻、神戸港めぐり

長、宮岡助役、生協の竹本
専務理事、大高毎日新聞編
集局長らの祝辞で出航。カ
ラオケや林純子さんのトラ
ンペット演奏が続く快調な
航海となり貝原副知事の
「古代のロマンに酔い、瀬
戸内の景色に酔い、美酒に酔
ういい会」という挨拶と共に
に無事着岸。奥村夫妻のデ
ュエットも飛び出す和やか
な会であった。



奥村さん(右より3人目)を
囲んで和気藹々たる船旅

◆小泉パーティご案内

●小泉パーティは

結婚を希望する男女にお見合や愛好会
によって健全なご交際のお手伝いをい
たします。身元の確かなことは良縁の会
第一条件です。身元の確かな方々の会
員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

神戸マリッジへ(無料)

楽しいご結婚のお買物をご予算に応じてプラン
ニングし、神戸の一流の専門店を紹介いたします
す。

△賛店

家具の江戸屋・宝石のタジマ・ふとんのつゆき
紳士服のニッケショールーム・和装のみよしや
旅行の日本旅行・他各種の専門店

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は
事務局 平650 中央区江戸町100 高砂ビル510
コミュニティサービス内電392-0200 小泉正巳

の船上で開かれた。著者は
毎日新聞神戸支局長の奥村
邦彦氏。毎日懇話会高田会

水岡薰定山溪温泉観光協会会長は、「十年の歩みを振り返ると深い感銘を覚える。この十年間で、経済状況も観光に対する志向も変った。難しい環境の中で、温泉観光地のあり方を模索し、いかに振興していく行くか、重大な岐路に立っている。今こそ行政と民間のわれわれの協力によって、こういう難しいときだからこそ大きく前進するときとしたい。有馬温泉で今後のあるべき温泉観光の理想像を語り合

ます、金井清展有馬温泉観光協会副会长が提携への経緯を紹介したあと、「神戸市、札幌市が手をとり合って、ますます発展することを祈念して止まない」と開会の辞を述べた。

有馬温泉が、北海道札幌市の定山渓温泉と姉妹提携をして十周年を迎え、その記念式典が八月三日、有馬温泉の兵衛向陽閣で行われた。この式典には、札幌市側からは一八名が出席した。

有馬温泉・定山渓温泉
姉妹提携10周年記念式典開く

● THE ARIMA SPA ●
IN SEP.

湯の街 有馬歳時記



ミス札幌（左側）とクイーン神戸に囲まれタイムカプセルを手にする
風早会長（左）と水岡会長

ることを一つの節目として、今後ますますそのあり方を厳しく追求しながら両温泉が手を携えて力強く進んで行きた。二十一世紀に向って温泉観光をさらには发展させることを誓いたい」とあいさつ。それに応えて風早喜一有馬温泉観光協会会長は「この十年間、消費の落ち込みで宿泊産業は厳しくなって来ているが、両温泉とも若い芽が育つて来ている。これから十年間は、今までの十年間よりも変遷が大きいと思う。しかし各自が自助努力すれば観光産業は栄えると確信する」と意欲的なあいさつをした。

次にミス札幌から風早会長へ、クイーン神戸から水岡会長へ花束が贈られた。会場が華やいだところで、奥田真弘有

敷地内から湧き出る
日本最古の温泉“有馬温泉”
阪急ホテルチェーン
有馬ビューホテル
TEL (078) 904-2295代
●
温泉と演芸と道技場
有馬ヘルスセンター
TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館
中の丸珠苑
TEL (078) 904-0781
会議セミナーから御家族づれまで
有馬グランドホテル
TEL (078) 904-0181

結婚式場を完備しています
伝統と格式を誇る
兵衛向陽閣
景勝高台の近代旅館
TEL (078) 904-0501代

テニスでいい汗
いい湯にとっぷり
味に集う
Sunny Side up
木造りの宿
御所坊
TEL (078) 903-1024
TEL (078) 904-0551

●そぞろ歩きの有馬●



清流が涼しげな

鼓ガ滝公園

山まつのあらしになほもひびくか
なつゝみかたきの水のしらべは
これは、近衛摂政大臣が歌った一
首だが、閑静な公園として訪れる人
も多くの市民の憩いの場所となつて
いる。

鼓ガ滝公園はロープウェー「有馬溫
泉駅の近くにある。六甲山から流れ
る谷川が落下して岩間にこだまし、
ちょうど鼓を打つ音のように聞こえ
るので、この名がある。滝から流れ
る清流は、いかにも涼しげで、木蔭
を散策すれば暑さも忘れそうだ。

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

旅は出会い
ほのぼの心を添えて

政府登録^{登旅第78号}

●月光園

神戸市北区有馬町318
TEL (078) 904-0366

有馬の歴史を語り継ぐ「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 光楽

TEL (078) 904-3656

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館

欽山

TEL (078) 904-0701代



記念式典の模様

馬温泉観光協会企画宣伝部長から、十周年記念事業の発表があった。

記念行事の内容は、神戸・札幌両市長の2001年へのメッセージなどをビデオディスクに収録したタイムカプセル。

宮崎市長、板垣札幌市長が、2001年の神戸市、札幌市像を語り、有馬

小学校、定山渓小学校の十歳、つまり両温泉が提携を結んだときに生まれた児童が2001年への夢を作文にまとめ、また、現在の神戸市、札幌市、有馬温泉、定山渓温泉の姿をビデオに収録するなど多彩な内容となっている。またカプセル自体も直径三十三センチ、深さ二十二センチの立杭焼きとなかなかなりません。これらは有馬温泉の「ゆけむり広場」と定山渓温泉の定山寺に埋められる。

両市長のメッセージや定山渓小学校の児童の作文が披露されたあと、ミス札幌、クイーン神戸の介添えで、両協会長の間でタイムカプセルが交換された。

閉会の辞は梶木雅夫有馬温泉観光協会副会長。「今後とも両温泉で、若い世代が大きく提携の輪を広げて行ってくれることを期待したい」と言葉を結んだ。

記念式典のあと懇親会がもたれ、和やかな歓談がつづいた。



下諏訪のリンク (1922)

★県立近代美術館開館以来、最大規模の展覧会

日本各地を写生旅行して数々の名作を残し、「日本近代の代表的風景画家」とされる金山平三。今年はその生誕百年にあたるが、金山は明治16年に神戸の花隈で生ま



●生誕百年を記念して

「幻の画家」金山平三の全画業を紹介

れ、幼少年時代を神戸で送った。昭和39年に亡くなるまで80年の生涯を孤高独往の画業で貫き、自然の息吹を中心色の美しい色彩のハイモニーで描いて、神戸の生んだ巨匠として確乎たる足跡を残している。しかし、その一方、画壇の交わりを嫌い作品の発表にも慎重だったことから、その優れた作品に比して、ごく一部の愛好者以外には知名度が低かった。

しかし、昨年9月、県立近代美術館の新館に金山平三記念室が開館され、作品が常時展示されることで、徐々に再評価の機運が高まってきた。今春にはNHKテレビの日曜美術館に「幻の画家、金山平三」が放映され、佐竹徳さんが「金山さんにとって絵を書くことは、宗教家の祈りにも似て、周りの画家にとつて立ち入りがたい聖域であった」と思い出を語っている。

兵庫県立近代美術館では、金山平三生誕百年を記念して9月15日から10月16日まで、この「幻の画家」の美術学校在学期から晩年に至る全ての画業を精選し「幻の画家」が描いた日本の自然・生誕百年金山平三展」を開催する。この企画は生前没後を通じて初めて実現された金山芸術の集成成といふことができる。

公開される作品は、初期の滯欧作「コンカルノーの城壁」、初の文展受賞作「夏の内海」を始め、「下諏訪のリンク」、「祭の女」、「大石田の最上川」、「桂」、「溪流」、「メリケン波止場」、「茂木(長崎)」、晩年の滯欧作「ア

マルフィの海岸」など代表作を含む油絵約140点、「日本の重要文化財に指定されるべき作品群」(今泉篤男)と評されるユニークな芝居絵185点、ヨーロッパの風景を描いた水彩画、珠宝のミニアチュール、ガラス絵など全ての分野にわたっている。

主催は県立近代美術館、朝日新聞社、助伊藤文化財団で、従来、企画展の会場にあてている本館2階の展示室以外に新館の1、2階をも使用し、開館以来最大規模の展示会となっている。また会期中の9月25日、晩年の金山平三と親交が深く「金山平三伝」の著作で知られる歌人の飛松實さんの講演「金山平三夫妻のこと」が同館内で2時より催される。

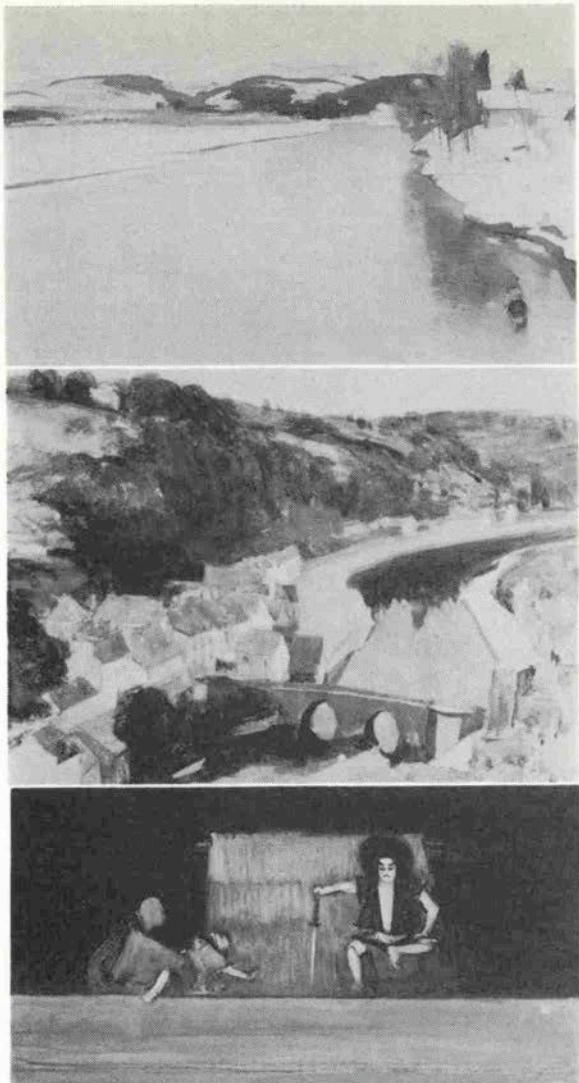
★次の10年に向かって前進する兵庫県立近代美術館

県立近代美術館と金山平三との関わりは深い。兵庫県政百年記念事業として同館が設立されたのは昭和45年だが、それより前に設立への大きな起爆剤となつたのは金

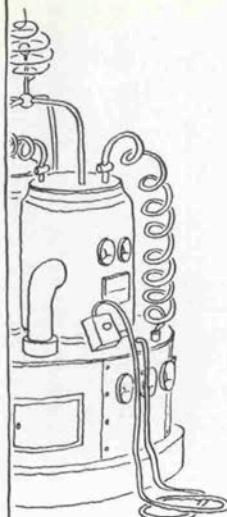
山平三の多くの遺作が兵庫県へ寄贈されたことであつた。開館から10年、「地方の美術館の時代」という表現がすっかり定着したが、県立近代美術館の最初の10年の活動はまさにその魁であった。次の20年という節目に向つて新たな展開を開始し、金山平三展以後も「19世紀ヨーロッパ風景画展」(11月3日～27日)、「アンソール展」(11月10日～84年1月16日)、「兵庫現代美術展・都市」(1月26日～2月19日)、「アート・ナウ'84」(3月3日～25日)と充実した企画展が次々と準備されている。

この8月1日には、知事在任中に自ら県立近代美術館を開館した金井元彦元知事が第3代の館長に就任。さらに地域に根づいた個性ある美術館として結束した活動が期待される。

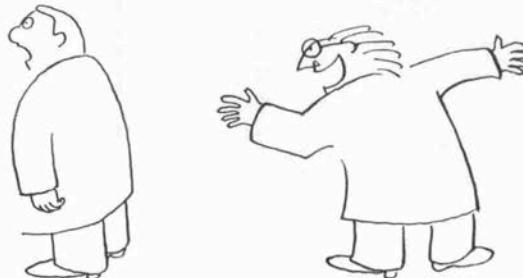
「幻の画家が描いた日本の自然・生誕百年金山平三展」、観覧料／一般700(団体550)、大・高生450(300)、中・小生300(170)、9月15日～10月16日、会期中に限り全館共通料金



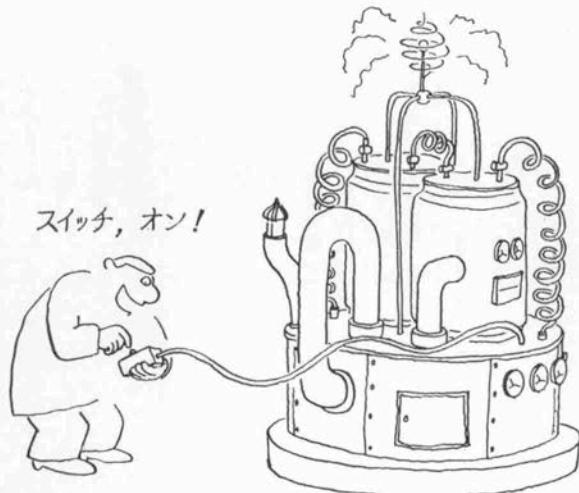
上より、大石田の最上川(1948頃)、無題(橋)(1914～15)、
<芝居絵>与一兵衛と定九郎



この装置から発せられる電波は、全地球におよぶのだ。
そして、その電波に触れれば、人間以外のものは、すべて花
になるのじゃ。世界は花畠となる。戦争も、公害も、受験
地獄も、交通事故も、すべてなくなる。
人類は、花畠のなかで、再び一歩からやりはじめるのじゃ。



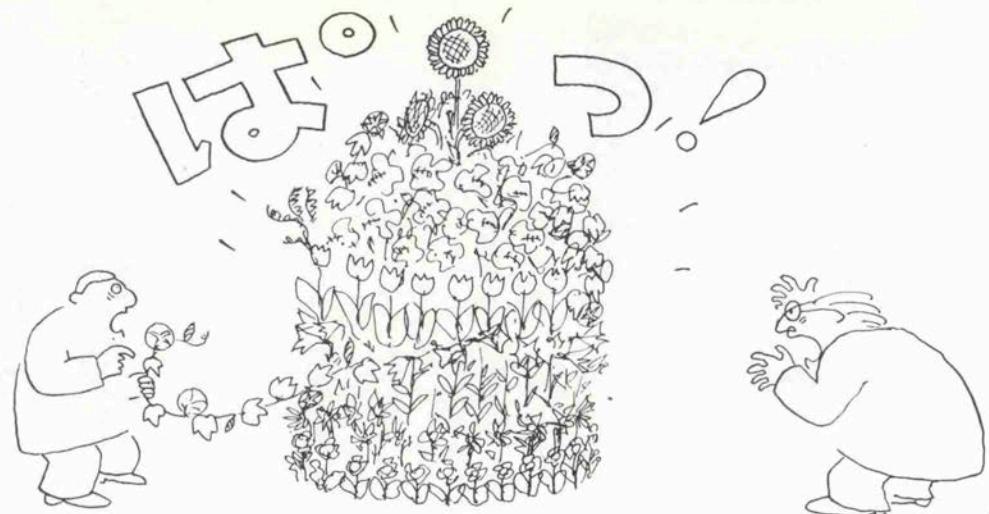
1



歴史的な瞬間じゃ！
世界の平和は、今、
ここから広がっていくであろう！
スイッチ、オン！！



2



電波に最初に触れるのが
装置自身だということに
なぜ"お気づきになられなかつたんで?"



“こんなにちはハーネス”

橋本 明／社団法人「家庭養護促進協会」事務局長

七月十六日に神戸文化小ホールで「こんなにちは、ハーネス」という映画の完成披露試写会が開かれた。この映

画は大手映画会社の配給ルートに乗らない独立プロ作品を中心普及運動を続いている「映画センター全国連絡会議」の結成十周年を記念して製作されたもので、「ハーネス」というのは盲導犬につける胴輪のこと。事故で中途失明になつたピアニストをめざす女子大生と盲導犬との出会いをワンパクな小学生たちとの生活を交えて、明るく描いた作品で、この八月初旬には神戸文化ホールで一般にも公開され大変評判になつた。小ホールでの試

ランティアグループ兵庫県支部」（広瀬勝代・代表世話人）のみなさん。

このボランティアグループは昭和五四年十月に発足したが、今年の一月から兵庫県下の盲人に盲導犬を贈るために街頭募金、Tシャツ、冊子の販売、会員加入のよびかけ、募金箱の設置などの活動を続けており、これまでに約一五〇万円の寄金を集め、その寄金で盲導犬の訓練を京都の関西盲導犬協会に委託し、そこで訓練を受けた盲導犬を贈ることになったものである。

同グループによると、兵庫県下の目の不自由な人は約



柴田さんに県で初の盲導犬が贈られる



盲導犬普及の募金箱。協力お願いします。

写真では、会場で西宮市の中途失明になつた主婦、柴田年子さんに兵庫県では第一号の盲導犬の贈呈式も行なわれた。

この日柴田さんに盲導犬を贈ったのは「盲導犬普及ボ

九千二百人で、毎年約六百人が中途失明しており、約千頭の盲導犬が必要とのこと。日本全国では盲人の数は三五万人にものぼるが、現在使われている盲導犬はわずかに四百頭足らずしかいない。わが国での盲導犬は昭和三

三年に国産第一号が誕生して以来、二五年経った今日でまだわざかしかいないというのは盲人福祉の遅れや盲導犬に対する行政、市民の理解の不足などもあるだろうが、盲導犬を育てるには産出から訓練まで長い期間と一頭当たり約一五〇万円もの経費がかかるので盲人が個人で購入することは難しいことなどもある。従つて全国に九カ所ある訓練所では年間予算の三分の二までは寄付金で運営され、訓練を受けた盲導犬は盲人に永久貸与をしている。現在、神戸市内では六頭の盲導犬がいるが、これは神戸市が年間二頭の盲導犬育成のための予算をとつており訓練所へ育成を委託しているからであるが、兵庫県は予算がとられていないために神戸市以外の盲人はなかなか盲導犬がもてないのが現状という。

数少ない盲導犬の使用者は、盲導犬を使うようになって、安心して外出ができる、仕事がしやすくなつた（92・2%）、運動不足がなくなり日々の生活が明るくなつた（78・5%）、付添いに負担をかけたり、気がねなく外出ができる（63・4%）、犬との友情がまし、生活が明るくなつた（54・3%）、と盲導犬の役割を大きく評価している。

ところでこの映画のキヤンペーンのために神戸を訪れた後藤俊夫監督は「二年前に国連で国際障害者年の十年間の行動計画が立てられた時、福祉について一体私に何ができるだろうかと考えた末、私の周囲に目の不自由な人がいましたので三〇人以上もの中途失明者に取材し、それぞれの人たちの実話を素材にして作りあげた作品です。これは盲導犬をPRするための映画ではありません。子どもたちに小さい頃から福祉について関心をもつてもらいたいんです。目の見えない人に対するどういう



「この映画で盲人や盲導犬の理解を」と語る後藤監督（右）と筆者（左）

手をさしのべていけるのか、その「やさしさ」を感じてほしいんです。映画のなかで、バスの運転手との会話、切符を買うシーン、横断歩道を渡る場面などにボランティア精神みたいなものを入れたつもりです。この映画をみて人間に対するやさしさや思いやりをいつも考えるようになってほしいし、いいものを見て感動する気持ちをもつてほしいですね」と制作のネライを語った。スマート少年たちとの心の交流を描いた作品「こむぎいろの天使」や、クマと人間の葛藤を描いた作品「マタギ」で芸術選奨の新人賞を受けた後藤監督の新作品であるだけに、その制作意図は観客に十分に伝えられるにちがいない。この映画を見る耳のきこえない人たちのために字幕スクリプトを入れたフィルムも現在制作中である。

盲導犬はまだその数がごく少ないためにも一般の人たちの目にふれる機会はほとんどない。そのため関心も低く、理解の不足もあって音楽会やレストランへの入場も拒まれ、タクシーや他の乗物への乗車も拒否されることも多いという。それは盲導犬だけではなく盲人への無理解や誤解にもとづくものによるものも多いであろう。

この映画が多くの人々に見られることによって盲人の世界への理解や関心がひろがってほしいし、また市民の協力で多くの寄金が寄せられ、盲導犬を待ち望んでいる人たちに少しでも早く盲導犬が贈られることを望みたい。

「こんなには「やさしさ」についての問い合わせは

〒六五〇　神戸市中央区北長狭通四丁目三一—三

「兵庫県映画センター」

〒六五一　神戸市中央区琴緒町四一五　タガミビル二F

TEL 二四二一三七一

再び文化創造の境内に 大仏つあんの境内を

★息の長い再建活動を

今春以来、能福寺の「兵庫の大仏つあん」の再建・復興が、市民の関心を呼んで、実物大モデル（発泡スチロール製）の展示やパレードは、目に訴えるアピールとして効果も大きかったようだ。この盛り上りつある機運を大切にしようと思われている。

ただ、この計画がすべて計算され練り上げられた後発表されたものではなく、事、能福寺の境内が果たし

て、実物大モデル（発泡スチロール製）の展示やパレードは、目に訴えるアピールとして効果も大きかったようだ。この盛り上りつある機運を大切にしようと思われている。

「羅針盤なしで大洋に船出した状態」（雲井世雄・能福寺副住職）であるだけに今後、種々の問題が山積みされていると言えよう。

現在、総代会及び世話人会が中心となって、活動への組織作りを急いでいる。

さて、



神戸まつりパレード中の模型

現在再建への準備が進められている。

ただ、この計画がすべて計算され練り上げられた後発表されたものではなく、事、能福寺の境内が果たし

た、能福寺の境内は、一年中月、彼岸、お盆等は大変な数の参拝者であつたそうだ。三船清氏（兵庫通信主宰）の著書「神戸の遊びと遊び歌」（のじぎく文庫・刊）や「兵庫通信第6号」に、その当時の情景が、生き生きと描写されている。生

きいきと描寫されている。生姜漬、生姜糖、みりんなどの漬物は年によって違っていたそうだ。

生姜漬、生姜糖、みりん粕、つぼ焼、こんにゃくの入ったタコ焼きの小粒のよ

が必ずかかり「地獄極楽」「須磨の仇浪」「不如帰」などの演し物は年によって違っていたそうだ。

生姜漬、生姜糖、みりん粕、つぼ焼、こんにゃくの入ったタコ焼きの小粒のよ

が必ずかかり「地獄極楽」「須磨の仇浪」「不如帰」などの演し物は年によって違っていたそうだ。

生姜漬、生姜糖、みりん粕、つぼ焼、こんにゃくの入ったタコ焼きの小粒のよ

うな玉焼き、焼きするめ、大小のひょうたん型に入つた色染めのニッキ水、コップ、竹ごま、海ほおづき腰下げ、オニ・侍・テングの面、綿菓子、べつ甲鈴、手品売り、あぶり出し、中笛、ハッカパイ屋、肉口天焼などの店が、よび声を上げて、子ども達を桃源境へと誘い込んだ。

また境内には、最も広い店舗を構えたおもちゃ屋、肉口天焼などの店が、よび声を上げて、子ども達を桃源境へと誘い込んだ。

株式会社 北野商店



世界の洋酒
世界のワインが
楽しめる

本店 兵庫区中道通1丁目4-31
TEL (078) 577-1181~3

山の街店 TEL (078) 581-2377

名谷店 TEL (078) 791-7171~2

慶びの家具

江戸屋

EDO TRADITIONAL INTERIORS

■本店/神戸市兵庫区塚本通2-1-1
TEL (078) 3120 (代)

■東店/神戸市兵庫区大開通2-1-2
TEL (078) 576 (576) 0054 (代)



株式会社 有馬芳春堂

本社・工場 兵庫区下沢通7丁目1番2号
TEL (078) 577-3581
直売店 三宮支店、そごう店、垂水駅ショッピングセンター、
丸新長田店（ジョイプラザ）

お好み焼

美丁
Yoshicho

福原金比羅宮西入ル 575-7913
平日・PM3~PM10:30
金土日・AM11:30~PM10:30
水曜日定休日

月には高級品のお市人形、羽子板は上段に飾られ、台の上には子ども相手のオカタハン、まとこと用具、ビストルなどが並べられた。隣接の勧商場には、レモン水や菓子の自動販売機なども見られたそうだ。

今日の「毎日がお祭り」のような生活とは異なり、盆や正月に憩いを求める暮しがぶりが伝わってくる。常設の芝居小屋では、かつて上方芸能を支えた渋谷天外や砂川捨丸氏らも修業にはげんだという。

また神戸に外国観光船が入港すると、境内は青い目の観光客であふれたそうだ。

うこー よレンダ
ひカタ



そして、それを強力に推進したのが、兵庫の大仏。あんあつたと言えよう。近年、校内暴力や家庭内暴力など「心の荒廃」に起因する社会問題が、マスコミを騒がせている。兵庫県の家庭問題研究機構設立構

想の例が示すように、行政においても、この「心の問題」に対して積極的にとりくむ姿勢を見せており、21

世紀は、この問題を抜きに語れないとも言える。そのためには、様々な角度から、すべての分野にわたり、数多くの人々とともに、この問題を考察し、取り組んでいく事が重要である。21世紀にむけて市民の心の安らぎの場として、新たな文化創造の拠点として、再び能福寺の境内が復活する事を大いに期待したいと思う。そして、それを推進するインパクトとしての役割をはたすのが「大仏

町1-39
能福寺／兵庫区北逆瀬川
電 652-1915

★「肉天」を知っていますか？ 鉄板の上にメリケン粉を薄くのばし、スジ肉の細切れ、赤い干エビ、鰹節の粉、キザミ葱などを指先につまんでぱらまき焼く。ソースを塗つて食べるが、その味抜群とか。そうした下町庶民の生活史を探るべく、三船清氏は生れ育った兵庫を歩き、「兵庫通信」を発行している。また商店街図の復元にも情熱を傾けている

★入院患者の心の安らぎに一役
5月に行われた神戸まつりで、参加者をあつと驚かせた兵庫の大仏つるの実物大模型。実は発泡スチロール製で青銅色の塗装したもの。発泡スチロールといつても、座高7・2M、幅5・6Mともなれば重さも300

21世紀文化創造の拠点に能福寺の境内は、庶民の憩いの場であり、市民文化発展の地であり、ひいては国際交流の一拠点でもあつたという点で、歴史的な意義を持っていた。

同病院は、入院患者300人のうち、約2割がお年寄りとあって、「心の安らぎ」という治療効果が大いに期待されてい

明るい色とまろやかな味
新発売 OLIVER MILD
新鮮野菜とワインペアソース
こんなに美味しい中で、まろやかな味の「オーレーワンダース」になりました。



百味漫遊
かねてつ

香り一番 味一番
サックリうまい
と いち
かねてつ

120種類もの豊富な
「かねてつ」製品
味づけに生きて
お楽しみください。

香り一番 味一番
サックリうまい
と いち
かねてつ

タビフク
タビ福

ORIGINAL TABI

本店 塚本通3丁目 ☎ 575-8868
センターブラザ西館2F ☎ 332-3500
センターブラザ2F ☎ 332-2767
メトロこうべ・神戸タウン ☎ 341-0439
さんプラザ3F ☎ 391-3720
株式会社 タビ福
ローソン柳原店 ☎ 576-0330

創設50周年を迎えて

常に時代にマッチした ヘヤーフアツシヨンを

吉田美津枝さん（みどり美粧院・みどり会会長）を訪ねて



若々しく語る吉田美津枝さん

——初めてお店を持った頃、世間の美容への関心は？

吉田「昭和6年頃で、今の三宮金沢病院の場所で開いたんですが、戦争で焼けてしまい、終戦後は、そごう百貨店に入れていただきました。その当時、美容院などというものは少なく、大変流行りました。今現在の自分の仕事が上向きにいっているのは、古い時代からいち早く西洋の技術、いわゆる「バーマネット」を取り入れ、そういうものが多くの人々に、教え続けてきたことにあらんでしょう。それこそ、今NHKで放映されている「おしん」のように、早くから洋髪に切り換えたことがすべてプラスになったんでしょうね。みなさんご存知ないでしようけど、『バーマネット』が日本で初めて取り入れられたのは神戸なんですよ。神戸の紺谷すみ子さんという方が創始者なんです。アメリカから取り入れた機械も、使用書が英語で書かかれているんで、英語を勉強しながら使っていました。最初は電気バーマで、バーマ代は高くて8円、安くて4円50銭でした。」

——「みどり会」では、技術者の育成に力を注がれていますね。

吉田「35年間続いているみどり会ですが、私がアメリカからとり入れたバーマネットの技術などを教え始めたことから発足したんです。今では関西を中心に、約千人のヘア・デザイナーの会員を擁するものになりました。毎月の講習会はもちろん、大きなコンクールなどもさかん対を押し切つてのことなんです（笑）」

昭和6年に店を創設し、いちはやく、アメリカのバーマネット技術をとりあげ、西洋の諸技術の養成にも惜しみない努力を積んできた神戸の美容界の老舗である「みどり美粧院」。生田神社前に本店を構え、美容だけではなく婚礼にも力を入れているみどり美粧院を、創設以来50年間、努力と誠意をもって支えてこられた「みどり会会長」吉田美津枝さんにインタビュー。

——美容界に入られたのはどんなきっかけですか？

吉田「女学校を出て、すぐに家庭に入ってしまうよりは何か仕事がやりたかったんです。美容かファッショニングデザイナーの方に進もうと思っていたんですが、美容の方に知人の紹介で進み、東京の芝山みよか美容学校に入りました。もちろん、50年前のことですから、両親の反対を押し切つてのことなんです（笑）」

に行なっています。」

——先生は、全日本婚礼美容家協会理事でもあり、婚礼の方にも力を入れておられますね。

吉田「はい。昭和38年にちょうど娘が、アメリカの大学を卒業するというので、それに合わせて二人で世界一周に廻りました。その時、長い間自分の職をあけるのがいやで、これを機に兵庫県美容組合理事長を円満退職することになりました。この旅行のあと、婚礼の方へ入つていったんです。」

——技術的に世界の水準と比べていかがでしたか。

吉田「20年位前は、かなり技術に差がありました。それでも、日本人は熱心で、真似上手です。すぐに世界の水準以上になって、今では十分世界にも通用します。婚礼に限らず、美容全体においての日本の功績は大きいですね。」

——みどり美粧院のこれから抱負は?

吉田「おかげさまで、みどり美粧院、ロイヤルみどりを

あわせると、神戸、大阪、京都の各地域に13店舗を持つことができました。神戸のポートピアホテルでは、娘もがんばってくれていますし、私も、まだ娘に負けないようと思っております。私自身が、気持ちを若く持ちつづけ、常に時代にマッチしたみどり美粧院にしてゆきたいと心がけています。」

——先生は、女性の美しさとは何だと思われますか? 吉田「本当の美しさというのは、その人の気持と教養によつて現われるのだと思います。女性にとっては、時代にあつた、オシャレは最少限の身だしなみです。表面的な美しさではなく、内面から出てくる知的なものが、女性を輝やかせるんでしょうね。話をしていると本当の美しさが出てくるともいえますよ。」

——これから美容師さんに一言。

吉田「美容師になろうと決心がついたときが、一つの努力の結晶です。それからは、よかれあしかれ自分の選んだ道なんですから、努力と根気しかありません。」

——先生は、お仕事で何に一番喜びを感じられますか。

吉田「やはり、きれいなお嫁さんが出来上がったときですね。花嫁さんを創ることができるのは、"幸せな仕事"だといえますね(笑)。」

——最後に「モットー」をお聞かせ下さい。

吉田「いつも言つてゐるんですが、"努力の継続"です。その時だけの努力ではなく、絶えず続けることです。人間、忍耐と誠意を持って続けないと、決して本物にはなりません。」

それから、仕事を続ける上では、若い人に負けないくらい頭の回転を早くし、老けてはダメですね。年齢なんて決して考えないことですよ(笑)。」



上／すっきり整理された店内 下／男性スタッフの店『GARCONNE』